

## 平成 28 年度第 1 回学校協議会実施報告

実施日時：平成 28 年 6 月 27 日（金）午後 6 時～8 時

実施場所：本校会議室

学校協議会委員出席者（五十音順）

塩見委員、田中委員、春山委員、人見委員、安田委員

事務局出席者

松浦（校長）、尚山（教頭）、富澤（事務長）、藤井（首席）、宮内（教諭・進路指導主事）

原田（教諭・教務主任）、山崎（教諭・生徒会主担）松本（教諭・人権ネットワーク部長）

### I. 次第

#### (1) 校長挨拶

#### (2) 本校の現状報告（校長、宮内、藤井、尚山）

- ・学校経営計画について
- ・進路の状況について
- ・政治的教養を育む教育について
- ・教科書選定の手続きについて

#### (3) 質疑・応答

### 内容

#### < 挨拶 >

校長より 2 年次修学旅行の報告等。

#### < 現状報告 1 >

#### **28 年度学校経営計画の重点目標について説明(校長)**

- ・学校協議会の意見を反映し、自習室にパーティションを設置する。
- ・授業改善について、ICT を導入し教師相互で授業見学をする時の改善シートを作成した。
- ・地元 5 中学との研究授業を実施する。中学校の先生を 30～40 名受け入れ、本校の授業を見学していただいた後、研究協議をする。
- ・台湾の竹東高級中学と交流をした。初めての企画であったがいい交流ができた。
- ・遅刻を減らす指導は効果を上げ、昨年・今年と 30% ずつ減っている。
- ・自転車運転免許はほぼ 100% の生徒が取得している。
- ・部活入部率は今年はやや低下した。
- ・社会貢献活動は今年も積極的に行う。夏休み、気仙沼にバスを 3 台出す。
- ・地元中学校への出前進路学活を今年も行う。15 校派遣する予定。
- ・地域へのボランティア活動も行う。小学校のお祭りなどに部活動の生徒が参加する。

<現状報告 2 >

**7期生の進路結果について(宮内)**

- ・ 専門学校への進学が少し増加 (33.8%)。目標を高く持った生徒が設定に届かず、四年制大学から専門学校へ志望を変更するケースが見られた。フリーターは多くなかった。
- ・ 未定のはフリーターにならず、浪人するものも多い。
- ・ 地元私立大学への進学が多い。
- ・ 医療系専門学校への進学が増えた。保護者の意向も強かった。今年の在校生も多い。
- ・ 就職については、景気が良くなり緩やかに上昇している。1次内定が85%。女子の販売系が増えた。事務系は受かっていない。職種変更しなければ受からない。
- ・ 在学中の取り組みとして、教育産業の基礎学力テストを利用して学力を測定している。
- ・ 義務教育の部分が理解できていない生徒が、1年秋に減って2年春に増える傾向が続く。
- ・ 全体的に英語が苦手で、数学を2年であきらめる傾向がある。国語は頑張っている。
- ・ 自習室を整備するが、いかに使わせるかが課題である。
- ・ 業者の作ったシステムを取り入れ、希望者はスマホを使って動画を見て学習できる。
- ・ 看護医療系が増えており、夏前の対策講座や無料模試受験を計画している。

<現状報告 3 >

**政治的教養を育む教育について(藤井)**

- ・ 文科省の指示を受け、取り組んでいる。学校全体体制で取り組んでいる。
- ・ 公民の授業だけでなく、総合の時間やLHRの時間も活用した。
- ・ まず、ニュース検定で社会の諸課題を把握した。
- ・ 政治的教養育成委員会を起こし、評価の指標を作成した。
- ・ 政治的教養の事前学習を行い、それを受けて模擬投票を行った。
- ・ 1年現代社会、2年世界史、3年公民の授業と選択外のは学年集会で指導した。
- ・ 参院選の候補者がそろそろ6/22の公示を受け、6/23から模擬投票を行っている。
- ・ 6/29の3限にテレビ局の取材が入る。6限は中学校向けの研究授業で模擬投票を行う。
- ・ 生徒は案内書を投票所に持っていき、投票用紙と交換して実物の投票箱に投票する。
- ・ 4/30、5/28、6/25の土曜日3回、定点観測として新聞の記事に取り上げられた。

<現状報告 4 >

**教科用図書の選定方法について(尚山)**

- ・ 高校での教科書選定方法について説明。  
(委員からの意見、特に無し)

## 意見交換

委員：生徒のアンケートは本人にフィードバックするべき。生徒に対しての返しが非常に大事。

事務局：あまりできていない。HPで公表する程度。次からの機会で検討する。

委員：遅刻が減っていること。部活の加入率が落ちたこと。生徒に言ってやるべき。アンケートは取ること自体が改善につながる。教員にも返す。大学ではベスト授業100選を表彰する。やったら返す、そうすれば変なアンケートを書かなくなる。

事務局：教員には個別に結果を返している。

委員：選挙について、中学校の生徒会選挙は信任・不信任。考えが育たない。実際に投票箱を使い体験することが大事。自分が投票した人が当選するということが伝わる。模擬投票の結果（政党名）は公表するのか？

事務局：学校独自では出していない。他校も含めてトータルで出したことはある。数値が表に出ると利害関係の話になるかもしれない。

委員：昨年度の協議会の発言が取り入れられた。自習室の設置。どこにでもあるので、活用が大事。平日だけの利用か？ 利用時間は？

事務局：平日の下校時間まで。教員の付添があれば延長する。教員の負担になる。休日なら、管理職・部活動付添のついでというのも考えられる。

委員：生徒のモチベーションが学力に反映する。どう持っていくかが課題。来た時のメリットは？ 例えば数学の先生がいるとか。どう周知してモチベーションを高め活用していくか、11月の利用率アップの報告を期待する。

委員：子供の意見も聞くべき。規則を守らせるのもギブアンドテイク。話し合いをしていく中で決めていく。遅刻をする子は何で遅刻するのか？ なぜ自習室へ行かないのか？ 業者講習を利用しないのか？ 大人同士で話しているが疑問がある。

事務局：生徒会では、髪型について話をしたことがある。髪型を好き勝手したい、では話ができない。体育祭では団長に主旨を説明し理解させて、団長から生徒に伝えている。生徒と話をしながら良いか悪いかを決めている。

委員：想像以上に先生はいろいろ考えてやってくれている。学校から離れて外から行事を見てきているが、「つばさはいい学校やね。」と言っている。「やろう」という姿勢が伝わってくる。ベスト授業の発表があれば、「あの先生は面白い、分かりやすい。」となる。悪い結果でなく、いい結果を出せば、先生に興味を持たせることができる。

スマホによる動画視聴はゲーム感覚でできる。もっと広がればよい。いい取り組みをされているので。

委員：大学では英語の授業が変わった。アクティブ・イングリッシュとなった。全員でそろってソフト開発をしている。プログラム学習となっており、学生は易しいところから上がっていく。答えが合うまで自分でやる。ゲーム感覚で、電車でも家でも、どこでも。授業では先生が個々に解説をし、メールで返したりする。学生にとっては面白い。成績はグラフで出てくる。教員で共有することができる。タブレットやスマホでいつでもできる。

事務局：教材はオリジナルか？

委員：全くのオリジナル。教材は、英語だけに任すのではなく総合的に他の教科からも提供する。現在は静止画だけだが、動画もあればよい。

事務局：ソフトを開発するのは大変ではないか？

委員：日本語でつくるのはそれ程でも無い。上級は難しい。4択の問題をやっていく。業者に任せて、費用は学生では無く、全額、学校が負担している。情報を共有化し、システム化することが大事である。

事務局：次回は11月下旬、11月13日の10周年記念式典以後を予定している。日程はまた、調整させていただく。開始時刻について、18:00はやや遅く感じたので、次回、17:30くらいで検討させていただく。